

都市再生整備計画 事後評価方法書

中山道赤坂宿周辺地区

平成 29 年 7 月

岐阜県大垣市

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

目 次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	5
(2) 実施過程の評価.....	6
1) モニタリングの実施状況の確認.....	6
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	6
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	6
(3) 効果発現要因の整理.....	7
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	7
(5) 事後評価原案等の公表.....	7
(6) 評価委員会の審議.....	7
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	7
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	7

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

(1) 成果の評価**1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況****指標 1 : 交流センターの利用客数****A : 事前評価時の『従前値』の求め方**

①従前値の 基準時点	本計画の実施前（平成25年度）
②実施主体	文化振興課
③計測手法	施設の整備前後における利用客数の推移を指標としており、従前値の設定時は開館（平成27年4月開館）していないため、従前値は「0人」とした。

B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成30年3月
⑤実施主体	文化振興課
⑥データの 計測手法	施設で毎月管理している利用客数をもとに、平成29年度末の施設の利用客数を集計し、集計結果を評価値（見込み値）とする。
⑦評価値の 求め方	集計結果を評価値とするが、計測時点において施設整備が完了しておらず、また、計測時点以降の数値は推計値であるため、評価値は「見込み」の扱いとする。

⑧確定／見 込みの別	<input type="checkbox"/>	確 定	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み	

C : フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップ の必要性	<input type="checkbox"/>	あ り	
	<input checked="" type="checkbox"/>	な し	

⑩計測時期	
⑪実施主体	
⑫計測手法	

指標 2 :		中山道赤坂宿周辺来訪者数	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	本計画策定時（平成25年度）の中山道赤坂宿周辺来訪者数の実績値を従前値とする。 ※ 計画策定時にて集計・公表されている中山道赤坂宿周辺来訪者数の最新の実績値が平成24年度実績であったため、平成24年度実績値を従前値とした。		
②実施主体	政策調整課		
③計測手法	岐阜県観光動態調査及び計画地区内の観光施設の利用客数		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	平成29年10月～11月		
⑤実施主体	地域創生戦略課		
⑥データの計測手法	平成29年度における岐阜県観光入込客統計調査の結果及び計画地区内の観光施設の年間利用者数の計測結果を評価値（見込み値）とする。		
⑦評価値の求め方	計測結果を評価値とするが、計測時点において計画事業の全てが完了しておらず、評価基準日（平成30年3月31日）において変動する可能性があるため、評価値は「見込み」の扱いとする。		
⑧確定／見込みの別		確定	
	●	見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あり	
	●	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

指標3：		中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	
A：事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	本計画策定時（平成25年度）に中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等に対するアンケート調査を実施し、本地区の来訪者等の満足度を従前値とした。		
②実施主体	政策調整課		
③計測手法	中山道赤坂宿周辺地区内のイベントや観光施設利用者等に対し、アンケート調査を実施し、「地区の印象」の満足度に関する問に対し、「そう思う」・「少し思う」と回答した割合の合計を従前値とした。		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	平成29年10月～11月		
⑤実施主体	地域創生戦略課		
⑥データの計測手法	中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等に対し、アンケート調査を実施し、調査結果を評価値（見込み値）とする。		
⑦評価値の求め方	計測結果を評価値とするが、計測時点において計画事業の全てが完了しておらず、評価基準日（平成30年3月31日）において変動する可能性があるため、評価値は「見込み」の扱いとする。		
⑧確定／見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性	<input type="checkbox"/>	あり	
	<input checked="" type="checkbox"/>	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

(1) 成果の評価

2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

数値指標：	
記述理由	
A：事前評価時の『従前値』の求め方	
①従前値の 基準時点	
②実施主体	
③計測手法	
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの 計測手法	
⑦評価値の 求め方	
⑧確定／見 込みの別	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方	
⑨フォローアップ の必要性	あり なし
⑩計測時期	
⑪実施主体	
⑫計測手法	

(2) 実施過程の評価

1) モニタリングの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C: 事後評価時の確認方法

- | | |
|--------|---|
| ①時 期 | — |
| ②確 認 先 | — |
| ③確認方法 | — |

2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

本計画の策定にあたり、市民を対象としたまちづくり関連の講演会及びワークショップを実施（平成26年2月）し、当該地区におけるまちづくりの課題等を整理するなど、市民意向を確認した上で計画を策定した。

C: 事後評価時の確認方法

- | | |
|--------|--------------------------|
| ①対 象 | 中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等 |
| ②時 期 | 平成29年10月～11月 |
| ③確 認 先 | 地域創生戦略課 |
| ④確認方法 | 当該地区の来訪者等に対するアンケート調査の実施。 |

3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
 イ 都市再生整備計画に記載しなかった
 ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

当該地区の来訪者等に対するアンケート調査の実施。アンケート調査の結果を今後のまちづくり施策等に反映する。

C: 事後評価時の確認方法

- | | |
|--------|--------------------------|
| ①対 象 | 中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等 |
| ②時 期 | 平成29年10月～11月 |
| ③確 認 先 | 地域創生戦略課 |
| ④確認方法 | 当該地区の来訪者等に対するアンケート調査の実施。 |

(3) 効果発現要因の整理

①時期	平成29年11月
②実施主体	地域創生戦略課
③検討体制	地域創生戦略課が主体となり、計画に関わる全ての課（地域創生戦略課、商工観光課、道路課、都市計画課、都市施設課、文化振興課）による庁内の横断的な組織を設置の上、検討会議を開催し、効果発現要因の整理を行う。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

①時期	平成29年11月
②実施主体	地域創生戦略課
③検討体制	(3)に記載の同体制により、課題の達成状況やまちの変化を整理し、効果の持続・改善に向けた今後のまちづくりの方策を検討する。

(5) 事後評価原案等の公表

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時期	平成29年11月	平成30年3月
②実施主体	地域創生戦略課	地域創生戦略課
③公表方法	以下の方法により、公表（2週間程度）。 ・市ホームページ及び市広報への掲載 ・地域創生戦略課窓口への設置	以下の方法により、公表（無期限）。 ・市ホームページ及び市広報への掲載 ・地域創生戦略課窓口への設置

(6) 評価委員会の審議

①時期	平成29年11月
②実施主体	地域創生戦略課
③設置・運用方法	「大垣市都市再生整備計画事後評価委員会設置要綱」に基づき、都市再生整備計画に限定して事業評価を実施する委員会を設置・運営する。

(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定

①聴取方法	なし
-------	----

※（3）～（6）の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況

①予算措置の状況	ア <input type="checkbox"/> 費用は発生しない イ <input checked="" type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ <input type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ <input type="checkbox"/> その他（ ）
----------	--

都道府県名	岐阜県
市町村名	大垣市
地区名	中山道赤坂宿周辺地区
計画期間	平成 26 年度～平成 29 年度
作成者	部署 企画部地域創生戦略課
	役職 主事
	氏名 中村 宗平
連絡先	T E L 0584-81-4111 内線 294
	F A X 0584-81-3301
	E-mail sousei@city.ogaki.lg.jp